

めざす子ども像

**郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども**

取組目標

様々な体験活動や地域の方々との交流を通して、校区の自然・歴史・文化等の良さを知り、豊かな心と自主的に行動する力、コミュニケーション能力を育てる。

## 【今年度の取組紹介】

今年度も、新型コロナウイルス感染症流行のため、4校園が集まって行う行事はできず、各校園で「命」をテーマにした行事に取り組みました。

- ・柳生こども園では、元気な“こころ”と元気な“からだ”づくりをねらいとし、感謝の気持ちをやさしい言葉で届ける取組を行いました。
- ・柳生小学校では NPO 法人「おてんとさん」の協力により、「食品ロス」について学びました。
- ・興東小学校では、生き物の命と私たちの命は同じであること、いじめのない環境をつくるためにしなければならないことを学びました。
- ・興東館柳生中学校では海外協力隊員の講演から文化の違いを越えて理解し合うことについて学びました。



興東小



柳生小



柳生こども園



興東館柳生中

## 【今年度のまとめ】

＜柳生こども園の取組 参加者の声＞

- ・「いつも会うたびに子ども達からかわいい声をかけてもらえて元気をもらえるわ。」「園児とふれあえて楽しい時間をすごせたわ。」と園児達との交流を喜んでいただけました。

＜柳生小学校の取組 児童の感想＞

- ・奈良県では、家庭では半分以上もしていることが分かったので、食品ロスをできるだけしないように、食品は買いすぎず、食べ物を作りすぎないようにしたいと思います。

＜興東小学校の取組 参加者の声＞

- ・心音のモニターができる器機があるのが驚きですごく良いと思いました。「生きているということは」の小学生の捉え方も、日常のありがたさを改めて感じました。

＜興東館柳生中学校の取組 生徒の感想＞

- ・言葉も伝わりにくく、文化もちがうけれど、自分の気持ちが相手に伝わればつながれるんだなと思いました。

## 【来年度に向けて】

コロナ禍のもと各校園で取り組んできた「命」にかかわるテーマでの取組も3年目を終え、工夫をこらし、定着してきたように思います。これからもこの取組を続けていきたいと考えます。

4校園の子どもたちが集まって行う行事「ふれあい広場」を、来年度は興東館柳生中学校で、感染対策を行いながら半日規模で実施する方向性を確認しました。様々な課題がありますが、まずはみんなが「集まる」機会をつくることから始めたいと考えています。

めざす子ども像

**郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども**

取組目標

**故郷を愛し、心豊かにたくましく生きる生徒の育成****【今年度の取組紹介】**

興東館柳生中学校創立以来行ってきた「地域の伝統文化に学ぶ」取組は、コロナ禍が続いた今年度も絶やさず続けることができました。

「大柳生太鼓踊り」は、地域の方々の全面協力のもと、昨年度より大幅に練習回数を増やし、3年生を中心とした生徒たちのがんばりもあって、完成度の高い発表をすることができました。少ないながらも保護者、地域の方々に見ていただくこともでき、NHKの取材も受けました。

「木剣体操」も1学期から練習に取り組み、体育大会で多くの保護者の前で披露することができました。

新しい取組として、地域の方々を講師としてお招きし、「民謡教室」を行いました。三味線などの伝統楽器に触れ、子どもたちは興味津々でした。

**【今年度のまとめ】**

感染対策を行った上で、少しずつではありますが、保護者や地域の皆様をお招きして行事をご覧いただくことができるようになってきました。新たな行事にも取り組むことができ、コロナ後を見据えた行事のあり方についての議論も進めることができました。

環境整備等、日々必要な事業についても、ご協力を得て少しずつ進めることができています。

**【来年度に向けて】**

地域の伝統に学び、地域を愛し伝統を守ろうとする子どもを育てるための本校の取組は来年度も続きます。子どもや教員の減少、地域の高齢化などの課題を乗り越えて、この取組をますます充実させていきたいと思っています。

2024年度には、本校は開校10周年を迎えます。地域の方々のご協力を引き続きいただきながら、記念行事等の準備も進めていけたらと思っています。

めざす子ども像

**郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども**

取組目標

**地域の特色を生かした体験的な活動を多く取り入れるなかで、  
「いきいき・わくわく・元気な柳生っ子」を育成する。**

## 【今年度の取組紹介】

## 1. 柳生の伝統を学ぶ

柳生は剣道の地であります。今年度は、全校で剣道体験を行うことができました。短い時間ではありましたが、体験をすることで、子どもたちは日頃とは違い、きりっとした態度を見せてくれました。人を斬るのではなく、人をつくる新陰流の精神を少し触れることができました。



## 2. 学校ボランティアとマラソン大会

毎年1月に本校ではマラソン大会が行われますが、今年は大雪のため、3回延期したなかで、学校ボランティアの方の雪かきのおかげで、無事マラソン大会が行われました。たくさんのボランティアの方の応援もあり、子どもたちは日頃見せない頑張りで走ることができました。



## 【今年度のまとめ】

今年度も感染症防止対策を講じながら、「お話の会」「まちたんけん」「柳生焼体験」「炭焼き体験」、また今年度は久しぶりに「剣道体験」も取り組むことができ、地域を知る充実した内容の体験学習、また地域の方々とのふれあいを大切にした学習活動が昨年より展開できました。また学校ボランティアのおかげで、学校環境整美はもちろんのこと、マラソン大会もたくさんの方に安全面での支援を承りました。学校評価アンケートから「学校は、地域と連携して特色ある教育活動を行っている」は保護者から高評価の結果が出ています。

## 【来年度に向けて】

来年度もいろいろな体験や学習を通して、地域の伝統や産業を学び、地域の方々とのふれあいを大切にすることで、自分の郷土に誇りを持ち、自分の夢をかなえようとする子どもを育てていきたいと考えます。また学校ボランティアと児童との協働で、学校環境整美を行うことや、防災訓練も地域の方々と一緒にやっていき、地域の絆が深められる有意義な取組をしたいと考えます。また、興東館柳生中学校区での「ふれあい広場」も再開していきたいと思えます。

めざす子ども像

## 郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども

取組目標

子どもたちが地域とのつながりを意識できる学習環境整備や取組の充実をはかる。

### 【今年度の取組紹介】

地域の方々との出会いを大切に、地域の教育力をお借りして、本年度も本校教育を推進しました。なかでも“もち米作り”は、米に関わる様々な体験を「つながり学ぶ」大切な学習事業となっています。子どもたちは、5月の田植えに始まり、9月の稲刈り、10月の粃摺りと色々なお話を聞いたり、体験をしたりすることができました。更に12月のしめ縄づくり、1月の大とんどまで、年間を通して本当に地域の方々にお世話になりました。

本校にとってこの米作り体験は、「地域で学ぶ体験学習事業」の豊かな学びの軸となる取組となっています。

その他にも1・2年生の焼き芋体験、3・4年生の絵手紙教室、蜜蝋でろうそく作り体験、1～4年生の白砂川でのニジマスの放流体験を行いました。また、6年生は校区歴史遺産学習として、運慶作の仏像等、国宝をもつ円成寺を訪問しました。新型コロナウイルス感染症感染防止のため実施することができていない行事もありますが、ここまでたくさんの活動が実施できたことは、地域の方々のご協力のたまものであると感謝しています。



### 【今年度のまとめ】

本年度も地域の方々の熱心な支援・協力のもと、学校としての取組も順調に進めることができました。どの体験活動においても児童が生き生きと、そして、楽しそうに活動している姿から、本当に貴重な経験をさせていただいているのだと感じました。この体験活動が有意義で、楽しく、心に残るものであったことは学校評価アンケートの結果にも表れていました。また、地域の方々から色々な話を聞き、一緒に体験することで、地域の方々と子どものつながりもより深まっていると感じます。

### 【来年度に向けて】

来年度も校区の歴史や伝統・産業を学び、先人の知恵や思いに触れ、いろいろな体験を通して感性を育てることで、自分の郷土を誇れる児童を育てていきたいと考えます。コロナ禍における活動も想定し、地域と連携・協働し、人と人とのふれあいから生まれる豊かな心を大切に、学校・地域の実情に合わせた取組を考えて、地域との絆をさらに強固たるものにしていきたいと思います。

めざす子ども像

## 郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども

取組目標

自然や地域の人との関わりを通して、豊かな心を育み、主体的に活動に取り組もうとする態度を育成する。



【菜園活動】

田植え体験、稲刈り体験、サツマイモ植え付け、いもほり、玉ネギ植え付けと収穫など、地域の先生に教えていただきながら、豊かな体験ができました。



【お話の会】

楽しく、愉快的な先生のお話により子どもたちは物語の世界に引き込まれていきました。毎回、楽しみにしています。



【リトミック活動】

学期に1回外部講師を招き、幼児組でピアノの楽曲に合わせて楽しく体を動かしたり、音楽に合わせて絵本の読み聞かせをして頂きました。



【制作活動】

4,5歳児対象に焼き物体験や生け花体験、茶道体験また、自然物を使ったリースづくりなど、地域の先生にたくさん教えていただきました

【今年度のまとめ】

地域教育協議会に参画させていただき、中学校区内の学校および地域コーディネーターの方々のご理解とご協力をたくさんいただいたおかげで、この地域ならではの豊かな自然の恵みを活動の中にたくさん取り入れ、また、地域の方々にも講師として来ていただき、子どもたちに幅広い豊かな体験活動を教えていただけたことで、興味・関心が深まり、心も体も豊かに成長している様子が子どもたちの言動から実感しています。

【来年度に向けて】

今年度同様に、地域の方々の教育力を取り入れ、地域と共に子どもたちの成長を温かく見守りながら、心を育む感動体験を積み重ね、主体的に取り組もうとする態度や、たくましく生きる力を育むための保育内容の工夫や、校区内の小・中学校とさらに連携を深めていきながら、地域に根づいた教育施設として幼児教育の取組を実践していきたいと考えます。